

令和 年 月 日 業者名  
所在地  
担当者名

氏名		生年月日	大正 昭和 平成 令和 年 月 日 ( 歳)		
補 聴 器 の 調 整 デ ー タ	名 称	高度難聴用ポケット型	高度難聴用耳かけ型		
		重度難聴用ポケット型	重度難聴用耳かけ型	その他 _____	
	メーカー	_____ 機種 _____			
	装用耳	右	左	両耳	
	音量調整	_____			
	音質調整	_____			
	出力制限装置 (回路名)	_____			
耳栓サイズ	_____				
イヤモールド	有	無	形 状	_____	
			材 質	_____	
			ベント	有 ( _____ mm)	無
※周波数毎の利得 (入力音圧に対する増幅量) 及び出力制限をご記載ください。					
	周波数	低周波数帯 ( Hz)	低中周波数帯 ( Hz)	高中周波数帯 ( Hz)	高周波数帯 ( Hz)
入力音圧					
低入力 ( dB)					
中入力 ( dB)					
高入力 ( dB)					
出力制限					

※トリマー式の場合は、設定位置を図及び数値で記載ください。  
PC 調整機種の場合は、下表又は調整結果 (PC 画面) の添付でもかまいません。

-----貼り付け-----

補聴器周波数特性装置により、フィッティング調整した補聴器の性能特性を記録すること。

■ 90dB 入力最大出力音圧レベル周波数レスポンス曲線

使用者が調整できる利得調整器を利得最大の状態にして 90dB 入力で測定する。

■ 60～90dB 入力 - 出力周波数レスポンス曲線

使用者が調整できる利得調整器を推奨の音響利得状態にして入力音圧を 60dB から 10dB ステップで 90dB まで変化させてそれぞれ測定する。

補  
聴  
効  
果